

KIDS SMILE LABO JOURNAL

"キッズ スマイル ラボ ジャーナル"

KIDS SMILE LABO が発行するフリーペーパー。普段 SNS でしか見られない保育園の子どもたちの様子や、子育てに関する情報等、最新情報をお届けします。

Vol.38
2024
AUGUST
TAKE FREE



KIDS SMILE LABO の 1 枚。

副園長の森誉さんが選んだ、とっておきの 1 枚を紹介します！

“お昼時の風景”

美味しい匂いに誘われて
大好きな給食が並ぶキッチンカウンターへ
一人また一人と子どもたちがやってくる
「おなかすいちゃった」「今日の給食はなに？」
大人と会話のやりとりをしながら準備の様子を少しの間眺
めている
テーブルの上に給食が運ばれると「いただきます」の音が
聞こえてきた

子どもたちの身体を作る大切な食事
給食スタッフや農家さんたちの想いが合わさり
丁寧に作られた美味しい給食ができあがる

お腹も心もいっぱいになった子どもたちが
また遊びへと戻っていった

photo & text by morimori

JOURNAL TOPIC

01 KIDS SMILE LABO CLASS NEWS ①

8月の子どもたちの様子をピックアップ！

02 ラボ 夏祭り 2024

第2回目の夏祭りがラボにて行われました！
準備から当日までの様子を写真と一緒にごらん下さい。

kidssmilelabo.com



@kidssmilelabo

KIDS SMILE LABO

@kidssmilelabo

@KIDS_SMILE_LABO

from KOMOREBI <0歳児>



踊るの大好き！楽しく身体を動かそう

「ター♪タラター♪タラ♪タッタッタ♪」
 スピーカーから曲のイントロが聞こえてくると、遊んでいる手をピタリと止めて一斉に立ち上がる子どもたち。その顔には笑顔が溢れていてワクワクが止まらない！といった様子、泣いていた子も思わず笑顔がこぼれてしまうほど。
 こもれびクラスの子どもたちをこんなにも夢中にさせているのが、ダンス「びよびヨ行進曲」です。
 ラボでは日頃からリズム遊びや体操、ダンスなどを活動に多く取り入れています、暑さで室内活動が多い今、踊る機会も増えたことで子どもたちのダンススキルはめきめきと上がっています。
 曲中に「ピタッ！」と身体の動きを止める場面があるのですが、子どもたちも「ピッ！」と言いながら次の音が聞こえてくるまでじっと止まっています。その時の「どう？止まってるよ、すごいでしょ?!」と言っているかのような表情で保育者を見る姿が何とも面白く、可愛くもあります。
 行進するところ、走るところ、音楽に合わせて動きやスピードを変えて振り付けはバッチリ！
 曲が終わるとすぐにもう一回！と何度もリクエストする程みんなが大好きなダンスです。
 他にも「びよびヨ行進曲」に並んで人気の「ジャングルぐるぐる」というダンスもよく踊ります。

猛暑で長時間外で活動することが難しく、思い切り身体を動かさせない、何をして遊ぶのか？と悩むこの季節、保護者のみなさんも子どもと一緒に踊ってみてはいかがでしょうか？楽しみながらたくさん身体を動かさせますよ。 文あやや

つつる・ガサガサ・つめたい！

外はお日様がキラキラと照りつける暑さ。乳児室の窓からも綺麗な青空と、もくもくの白い雲が見え夏を感じています。
 暑くて戸外での活動が難しい8月。とはいえ毎日、元気いっぱいな7名の子どもたち。毎年、この時期はどんな事をして過ごそうかな？と考えるのですが室内だからこそできる、感触遊び・チャンスの夏！でもあります。
 そよかせクラスでは、寒天や小麦粉、スライム等さまざまな感触遊びや、絵の具やペンを使つての描画、アルミホイルや新聞、野菜を使った素材遊びなどを行いました。
 色づけられた寒天や氷を目にして「きれー！」と声があがれば、指でさわ「つめたい」と感じる。見慣れない物体にドキドキしながらも一緒に関わりながら少しずつ距離を縮め、その素材の楽しさを発見しています。
 氷遊びをした時のひとコマでは、氷を集めようと手を伸ばすのですが、つつる滑って掴むのが難しい！でも子どもたちの目は真剣で逃げる氷を黙々と追いかける追いかける...。
 やーっと掴めて、嬉しい顔をするかと思いきや「ふー、やっとなれたよ...」と言っているかの様な真顔な表情。氷を掴む戦いの大変さが全身から伝わってきておもしろかったという事がありました。
 変幻自在な感触遊びの時間は、ひとりひとりの反応や発見が違って私たちも楽しい時間となっています。子どもたちが様々な物に出会い触れた瞬間の「びっくり顔・笑顔・洗い顔・夢中な顔」どれもが本当に良い表情をしているんです。あっちでも発見！こっちでも発見！「すごいすごい！」のこぼれがたくさん飛び交う楽しい時間となっている、感触遊び・チャンスの夏！を引き続き子どもたちと過ごしていきたいと思ひます。 文れいちゃん

from SOYOKAZE <1歳児>



from NOBANA <2歳児>



見てみて！ぼくたちわたしたちのリズム

暑い夏。室内で過ごす日々が続いています。
 そんな中でも、子どもたちの運動量の確保と、思いきり身体を動かして遊べるように！と近くの施設を借りてリズム遊びを行っています。
 以前は1歳児クラスと一緒にいくことが多かったのですが、幼児クラスと一緒にいく機会が増えたこの夏。子どもたちの姿に嬉しい変化を感じたので、その一部をご紹介します。
 広い部屋を走りたい気持ちが強く、順番が来るまでじっと待つことが難しかった子どもたちですが、憧れのお兄さんお姉さんの真似をして、待つ時は正座をして座ったり、リズムが終わるピアノの合図があると素早く元の場所に戻れるようになりました。それだけではありません！
 お兄さんお姉さんのかっこよくやるぞ！と、片足をあげて止まる『とんぼのリズム』では、少しでも長く止まれるように頑張る姿や、高這いをする『こうまのリズム』では、手元ではなくしっかりと顔をあげ前を見て進む姿が変わっていきました。その度に「すごい！」「かっこいい！」とみんなに褒められると、なんとも嬉しそうな顔をするのです。

少人数でみんなの前に出てリズムを披露する時間では、沢山の友だちが「頑張れ〜！」と手を叩いて応援してくれる中、真剣な表情で取り組んでいる姿が印象的でした。その時間を終えると、自信に満ち溢れた笑顔で座っていた場所に戻ってくるのです。「チーター1人でやりたい！」と自らリズムのリクエストをしたり、夏前はリズムをやらなかった子もリズムに参加する姿が見られるようになりました。
 リズムを通して、より自分に自信が付いたのぼなさん。
 応援し、認めてくれる仲間と一緒にいったリズム遊びでグッと成長を感じた夏でした。 文みーちゃん

夏祭り

from MINAMO OZORA DAICHI <3・4・5 歳児>

話し合いを繰り返す中で

暑い夏、お祭りの季節がやってきました。今回の夏祭りも、「なんのおみせをやるか?」という話し合いから始まりました。昨年の夏祭りの様子を思い出しつつ、新しいアイデアも生まれ、最終的にポーリング、わたあめ、金魚すくい、チョコバナナの4つの店に決まりました。

お店が決まってチーム分けをしてからは、各お店での話し合いが始まります。お店に必要なもの、準備すること、当日やること。子どもたちで意見を出し合い、段々と形が見えてきました。作業を進めていく中で、実際にお店でわたあめを食べたことがある子、ポーリングに行ったことがある子が「ほんものってこんなかんじだよ」とイメージを形にしてくれました。見たことがないと言っていた子も画像や、動画を見てイメージを膨らませていました。

今回のチームも年長さんが中心となってチームをまとめてくれています。話し合いそっこのけで遊びに行きたくなってしまいう年少・年中さんもいたのですが、「チームでしょ!」と話し合いに参加できるよう優しく声をかけていました。これまで何度かチームの中心となって活動する機会があった年長さんですが、その経験を繰り返す中で、リーダーシップが育まれ、その頼もしい姿は、年下の子たちの憧れの存在となっていました。

はなしあい

7月に入ってから何度かに分けて繰り返し行ってきた話し合い。やりたいお店を決めてからはグループ毎に話し合いを進めていきました。



さあ、つくろぞ!

絵具、綿、セロテープ、オイルパステル、わりばし、ペットボトル筆、ボール...使った素材や道具の数は数知れず...!

なんでも使いこなすみなそらだいちの子どもたちです。



ポーリング屋さん

ぽんおどりど
おまつりおたーと!!



ちよこばなな屋さん



わたあめ屋さん



きんぎょすくい屋さん



待ちに待った当日

小さいお客さんにはゲームのやり方、列の並び方など優しく丁寧に教えてくれる店員さん。時には、「さっきもきましたよね?!ひとりっかいです!」としっかりルールを伝えている店員さんもあり、お店の人とお客さんとのやりとりはとてもリアリティーがありました。

チョコバナナ屋さんには始まる前の仕込みが大忙しでした。まずはココアと砂糖とお湯でソースを作ります。チョコバナナ職人たちは、チョコの匂いにうっとり...味見という名のつまみ食いが止まらず、なかなか砂糖の分量が決まらないという、ハプニングもありましたが、お店がオープンすると、皆息ぴったり。バナナをカップに入れる人、チョコソースをかける人、お客さんに渡す人と大人顔負けのチームワークと仕事ぶりに大行列もすぐに捌いてしまいました!

ポーリング屋さんは受付係、倒れたピンを直す係と役割を分けて運営していました。当日までに何度もボールの重さとピンがきちんと倒れるかを確認していたこともあり、お客さんもスムーズにゲームで遊ぶことができていました。

わたあめ屋さんは綿の色ごとに味を決めて、注文を聞いてから作るシステムに。「なにがおいしいですか?」「いちごあげください」などとやりとりを楽しんでいました。夏祭りの数日前に綿の量を増やしたこともあり、来てくれたお客さん全員にわたあめを渡すことができました。

今回の夏祭りでは「子どもたちが主体」ということを大切に、行事運営や準備をしていきました。大人の私たちが介入した部分はほんの一部分で、子どもたちだけで話し合いを繰り返し、作業を進めていくことで「じぶんたちのなつまつり」が完成したのではないかと思います。時には、準備を進める中で失敗することや意見がぶつかることもありましたが、その経験も子どもたちにとって大切な時間になっていたと感じています。

お祭りが終わった後「たのしかったね!」とみんなで笑い合えた最高の1日になりました。

おはなし屋さん



かきそば コーンふねーく屋さん



のぼなステージ



七夕会でだいちライブを見て「ぼくたちもやりたいな〜」と話していたのぼなさん。その気持ちが出たのが今回の『のぼなステージ』でした。

披露したのは、暑くなってから散歩の道中でよく歌っていた「しりとり歌」。1番2番の後にオリジナルで3番を作り、「のぼなのすきなもの」を歌詞にしました。

大勢のお客さんを前にしても、いつもと同じように大きな声で堂々と歌う様子には大人のこちらがとて驚きました。

そしてなにより本当に可愛かったです♡

子どもたちにとっても大人にとっても楽しく、ステキな思い出になりました。

文あづあづ

文ゆりゆり